

平成 29 年 2 月 平和台図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 2 月 23 日 (木) 15 時 40 分から 16 時 55 分まで
場所	光が丘図書館 第 1 会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 平和台図書館指定管理者(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社) (以下「平」)</p> <p>平和台図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) 駐輪場のライン塗装工事の状況について</p> <p>→ (平) 現在、見積りをとっている。修繕費の残額をみながら実施する。</p> <p>(光) 緊急対応マニュアルについて、4 月に担当者の異動があるため内容の見直しをお願いする。スタッフ全員がマニュアルを確認できるように設置をしてほしい。</p> <p>→ (平) 了解した。緊急時、1 階と 2 階それぞれで、まず第一に何をしなければならないか確認をしていく。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>(光) 会計収支について、今後の支出予定は。</p> <p>→ (平) 今年度は、駐輪場のライン塗装工事で修繕費用を使い切る見込みである。来年度は照明のタイマー設置、ブックトラックの購入をする予定である。人件費の交通費は、区内在住者が多く執行残が出るため、来年度は見直しをする。</p> <p>(光) 12 月の調べ学習をテーマとした研修について、未受講者への内容周知は。</p> <p>→ (平) 学校支援員 2 名が受講した。今後、横の連携を強化するための場を設定していきたい。現在のスタッフはほとんどがベテランだが、今後、新しく入ってくるスタッフへの教育、研修体制を整えていく。</p> <p>③ 図書館システム・事業計画について</p> <p>(光) 1 月実施の事業「備えて安心！防災のプロに学ぼう！！家庭での地震対策」について</p> <p>→ (平) 防災のスペシャリストを招き、地震への対処を中心に紹介をしていただいた。普段の備えについて詳しく解説をしていただき、避難訓練、危機管理の実際について情報交換をした。アンケートには、具体的な内容でためになったという声があり、有意義な内容となった。今後、館内の対策として、ホワイトボードやキーボックスの転倒防止などを行っていく。</p> <p>(光) 災害時、2 階児童コーナーのガラスドア、吹き抜けの階段が心配だが、避難経路の案内の状況は。</p> <p>→ (平) 非常口の階段使用が安全であり、避難経路の表示をしている。</p> <p>(光) 本の福袋の実施状況は</p> <p>→ (平) 「一般向け福袋」は 30 袋、児童向けの「おたのしみ本のふくぶくろ」は 40 袋用意し、児童向けは初日になくなった。一般向けは、児童向けほどではないが 3 日目にはな</p>

くなり、福袋の中に入れたアンケートの結果も好評であった。広報を見て楽しみにしていた、図書館に来館するきっかけとなったという声もあり、来年度は提供数を増やして実施していく。福袋の中に入れたスタッフが手作りした毛糸のヒヨコも好評で、手作り感があり、愛情を感じたという声も聞かれた。

一般向けの福袋をトイレに向かう通路に配置し、利用される場所であることがわかったため、今後も活用をしていく。

(光) ティーンズコーナーの利用状況は

→ (平) 以前はあまり利用が多くなかったが、再開館後は以前よりも利用が増えている。

(光) 来月実施予定のバリアフリー映画会のPR方法は。

→ (平) 障害を持つ方への広報は課題と考えている。視覚障害者協会、聴覚障害者協会に直接案内を送り周知を依頼したほか、区の障害者施策推進課の係長に相談し、ポスターとチラシを区から団体に送付していただけることとなったため、ポスター11枚、チラシ19枚を障害者施策推進課へ送付した。2月11日から受け付けを開始し、現在視覚障害者1名、聴覚障害者2名含む19名程の応募があった。

(光) 利用者アンケートの結果について

→ (平) 事業に参加したことがないという方が多いため、いろいろな方に参加、利用をしていただけるよう、来年度は今年度より一般向け事業の実施を増やしていく。

(光) イベントへの参加から図書館資料の貸出しにつなげていけるとよい。

(光) 12月実施の「女性のための起業支援講座」について

→ (平) 定員の20名、20～60代の女性が参加した。自己紹介を活発にされ、関心も高く、内容にも満足して帰られた。次のステップとして個別具体的な相談を求める声もあり、2月に定員6名の相談の場を設けることとした。今後、検証し、事業を継続することとなった場合は、館の特徴として位置づけようと考えている。

#### ④ 児童サービス事業について

(光) 2月に現地モニタリングを実施し、概ね良好だった。書棚のサイン、見出しはわかりやすく表示されており、パンフレット置き場も良好だった。大型本が最上段に排架されていたため、棚の高さを調節して下段へ移してほしい。

→ (平) 了解した。

(光) 12月実施の「冬のおたのしみ会」について、定員80名に対し参加者が81名だったが会議室内の様子は問題なかったか。

→ (平) それほどこきつくなく、丁度良い人数だった。消防署には、事前に消防法の問題がないことを確認した。

(光) 1月実施の「こうさく会（おにはそと！まめまきしよう！せつぶんグッズ）」の様子は。

→ (平) 幼児が18名、保護者10名が参加した。内容が年齢に合っており良いこうさく会となった。行事の最後に豆まきをして盛り上がり、子供も満足している様子だった。